

Information 1

皆さんが一度は聞いたことのある【発作】について。

てんかん発作・低血糖・中毒・尿毒症・腫瘍・肝性脳症など…

発作は、様々な病気で起こります。

今回はその中でも多い症例の“てんかん”をお話！

てんかんとは？

発作的に繰り返される全身性の痙攣や意識障害を起こす**脳疾患**です。

脳の神経細胞は電氣的刺激の伝達によって機能します。

てんかんは脳の一部に障害が起きて、障害を受けた部分の脳細胞群から

電気エネルギーが突然過度に放電され、**発作**につながります。

犬の多くは遺伝的なものと言われています。

てんかんは、3つに分けられます。

特発性てんかん

問題がどこにもない

脳に異常がなく、**全身的な病気もない**

各種検査でも異常なし。

初めての発作が1~5歳

症候性てんかん

脳に異常あり（MRIや脳脊髄液検査）

腫瘍・外傷・水頭症など

脳疾患に伴って起こる。後天性てんかん

潜因性てんかん

症候性てんかんが疑われるものの

各種検査上明らかな**異常が認められないもの**



てんかんは犬で比較的多く診られ、猫では稀です。

犬は特発性と症候性が半々、猫は9割症候性といわれます。

初発は約6ヶ月~5歳頃が多く、どの品種でも起こります。

発作は、**発作前徴候**→**発作**→**発作後徴候**が主な流れで起こります。

《代表的な発作症状》



・意識消失 ・全身痙攣 ・首をのけぞり、四肢を突っ張るような状態

・失禁 ・脱糞 ・よだれ ・手足を無意識にバタバタさせる



発作は、数秒~数分（大体3分以内）には終わり

その後はケロッとしている子が多く見られます。

要注意な発作として

* 発作が長く続く（てんかん重積発作）

* 何度も繰り返す（群発発作）

5分以上けいれん発作が続くと、脳だけでなく全身にダメージが蓄積され

命に関わる緊急事態です。

発作が起こったときの飼い主様への Point !

- ① 落ち着いて！ 体を揺すったり、大声で話しかけるとその刺激で発作が長引くケースも…
- ② 発作中は意識がないので、周りの物をどかしてケガをしないように
- ③ どのくらい続いているか計って！
- ④ 発作の様子を観察。動画を撮ると伝えやすい
- ⑤ 数日間の体調の変化があったか
- ⑥ 病院に電話して！受け入れの準備をします



てんかんは**投薬治療**がメイン、生涯付き合っていく病気です。

発作を見ることはとても怖いかと思います。

ですが、その状況を説明できるのは見ていた飼い主様のみ…

状況把握は診療するにあたって**重要事項**です！！

